

平成22年度  
北秋田市教育委員会  
点検・評価報告書

平成23年9月  
北秋田市教育委員会

本報告書は、効果的な教育行政の推進に資するとともに、市民への説明責任を果たしていくために、地方教育行政の組織及び運営に関する法律（昭和31年法律第162号）第27条の規定に基づき、平成22年度の教育委員会の点検及び評価を行い、これを議会に提出するとともに、公表するものです。

○地方教育行政の組織及び運営に関する法律（抜粋）

（教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等）

**第27条** 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務（前条第1項の規定により教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務（同条第3項の規定により事務局職員等に委任された事務を含む。）を含む。）の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

2 教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

北秋田市教育委員会委員名簿

（平成23年3月31日現在）

職名	氏名
委員長	加賀隆寛
委員長職務代理者	佐藤正俊
委員	藤原高司
委員	吉田美樹
委員兼教育長	三澤仁

## 教育に関する事務の管理及び執行の点検及び評価

点検及び評価の対象年度          平成22年度

### 構成内容

- 1 教育委員会議の開催状況
- 2 教育委員会議での審議状況
  - 平成22年度 教育委員会審議案件一覧
  - （1）平成22年度 教育委員会議案案件
  - （2）平成22年度 教育委員会その他案件
- 3 教育事務の点検評価書【総合点検・評価】
- 4 主要施策点検・評価表【施策個別点検・評価】

## 1 教育委員会の開催状況

教育委員会議については、原則として毎月1回の「教育委員会定例会」と状況に応じた「教育委員会臨時会」を開催している。平成22年度は、合計で15回開催した。

- (1) 教育委員会定例会・・・12回
- (2) 教育委員会臨時会・・・3回

## 2 教育委員会議での審議状況

地方教育行政の組織及び運営に関する法律（昭和31年法律第162号）第26条及び北秋田市教育委員会教育長に対する事務委任等に関する規則（平成17年教育委員会規則第6号）第2条の規定に基づき、平成22年度は、合計で44件について審議した。

### 平成22年度 教育委員会審議案件一覧

#### (1) 平成22年度 教育委員会議案案件

議案番号	件名	提出日
5	北秋田市立合川高等学校評議員の委嘱について	4月28日
6	北秋田市奨学資金貸付審査会委員の任命について	4月28日
7	北秋田市公民館非常勤館長の任命について	4月28日
8	北秋田市教育委員会教育委員長の選挙について	5月14日
9	北秋田市教育委員会教育委員長職務代理者の指定について	5月14日
10	北秋田市立小中学校条例及び北秋田市立小中学校給食調理場条例の一部を改正する条例の制定について	5月27日
11	北秋田市立合川高等学校授業料等徴収条例の一部を改正する条例の制定について	5月27日
12	北秋田市立合川高等学校条例等を廃止する条例の制定について	5月27日
13	専決処分の報告について（北秋田市鷹巣体育館屋根からの落雪事故について和解をし、損害賠償の額を定めることについて）	5月27日
14	北秋田市スポーツ振興審議会委員の任命について	5月27日
15	教育に関する事務の管理及び執行状況の点検及び評価について	5月27日
16	北秋田市指定文化財の指定について	7月22日
17	専決処分の報告について（工事請負契約（阿仁中学校体育館改築工事）の締結について）	8月26日
18	北秋田市公民館条例の一部を改正する条例の制定について	8月26日

議案番号	件名	提出日
19	北秋田市福田獅子舞伝承館条例の一部を改正する条例の制定について	8月26日
20	北秋田市公民館管理規則の一部を改正する規則の制定について	10月28日
21	北秋田市公民館活動推進員設置要綱の制定について	10月28日
22	阿仁公民館活動推進員の委嘱について	10月28日
23	専決処分報告について（北秋田市鷹巣体育館の仮設公共物への接触事故について和解をし、損害賠償の額を定めることについて）	11月25日
24	北秋田市立合川高等学校管理規則等を廃止する規則の制定について	11月25日
1	北秋田市立小中学校管理規則の一部を改正する規則の制定について	1月27日
2	北秋田市学校施設整備基金条例の制定について	2月24日
3	北秋田市職業総合研修センター条例の一部を改正する条例の制定について	2月24日
4	北秋田市農村環境改善センター条例の一部を改正する条例の制定について	2月24日
5	北秋田市立小中学校条例及び北秋田市立小中学校給食調理場条例の一部を改正する条例の制定について	2月24日
6	北秋田市立幼稚園条例の一部を改正する条例の制定について	2月24日
7	北秋田市公民館条例の一部を改正する条例の制定について	2月24日
8	北秋田市阿仁ふるさと文化センター条例の一部を改正する条例の制定について	2月24日
9	北秋田市森吉コミュニティセンター条例の一部を改正する条例の制定について	2月24日
10	北秋田市立合川山村留学センター条例を廃止する条例の制定について	2月24日
11	北秋田市営スキー場条例の一部を改正する条例の制定について	2月24日
12	県費負担教職員の内申について	3月7日
13	北秋田市公民館管理規則の一部を改正する規則の制定について	3月24日
14	北秋田市阿仁ふるさと文化センター管理規則の一部を改正する規則の制定について	3月24日
15	北秋田市立合川山村留学センター管理規則を廃止する規則の制定について	3月24日
16	北秋田市体育指導委員の委嘱について	3月24日

議案番号	件名	提出日
17	北秋田市図書館協議会委員の任命について	3月24日
18	北秋田市浜辺の歌音楽館運営審議会委員の委嘱について	3月24日
19	北秋田市文化会館運営委員会委員の委嘱について	3月24日
20	北秋田市文化財保護審議会委員の委嘱について	3月24日
21	北秋田市社会教育委員の委嘱について	3月24日
22	北秋田市公民館運営審議会委員の委嘱について	3月24日
23	北秋田市生涯学習奨励員の委嘱について	3月24日
24	北秋田市公民館活動推進員の委嘱について	3月24日

※ 議案番号は、暦年による一連番号を付した。

(2) 平成22年度 教育委員会その他案件

番号	件名	提出日
1	平成22年度教育委員会機構図及び各課の事務分担について	4月28日
2	小中学校の運動会日程について	4月28日
3	北秋田市立小中学校評議員一覧について	5月27日
4	北秋田市生涯学習関係委員一覧について	5月27日
5	6月議会定例会提出補正予算について	6月24日
6	9月議会定例会提出補正予算について	9月24日
7	12月議会定例会提出補正予算について	11月25日
8	卒業（卒園）式、入学（入園）式の日程について	1月27日
9	合川西小学校の事故について	2月14日
10	第2回議会臨時会提出補正予算について	2月24日
11	3月議会定例会提出補正予算について	2月24日
12	平成23年度予算要求（案）について	2月24日
13	平成23年度教育委員会人事異動について	3月24日
14	入学（入園）式日程について	3月24日

### 3 教育事務の点検評価書【総合点検・評価】

平成22年度における教育委員会の当初予算は21億547万5千円であったが、1億9,128万7千円の増額補正となり、合計で22億9,676万2千円で、前年度予算と比較して4億7,629万2千円、割合にして約17%減少している。

歳出の主な減少要因としては、平成21年度は森吉中、阿仁中の耐震補強工事及び阿仁中体育館建築工事の4億3,979万8千円（平成22年度へ繰越）が計上されており、また、緊急経済対策として国の平成21年度補正予算で創設された経済危機対策臨時交付金、公共投資臨時交付金、きめ細かな臨時交付金等による減少の影響も多大である。

平成22年度における教育委員会の主要施策についての個別点検・評価については、別紙のとおりであり、全体的に総括すると以下のとおりである。

「有効性」については、12項目にわたって期待以上の成果が得られたが、中でも小学校校舎等内外改修補修事業、中学校校舎等内外改修補修事業により校舎の耐震化が進み、特に中学校に関しては、耐震化率が100%となった。本年3月には東日本大震災が発生し、大きな被害をもたらし、その後も日本各地において地震が頻繁に続いている。より一層の安全性が求められるなかで、現在、米内沢小学校改築工事や平成27年度の竣工を目指している合川小学校の建築により、小学校に関しても耐震化率100%の実現に向けた取り組みが進んでいるところである。

「費用対効果」については、平成23年度から小学校において外国語活動が本格的に導入されるが、外国語青年招致事業により市内の全小学校では平成21年度からALTを配置し、先行実施を行ってきた。子どもたちが本物の英語に触れ合う機会が得られたことで興味を増し、ますます英語が身近に感じられるなど大きな成果が出ており、本格的な導入に対してもスムーズに対応できるものと確信している。また、生涯学習関連事業では多くのボランティアの協力により事業が行われており、放課後子ども教室推進事業や学校支援地域本部事業などで大きな成果が得られた。文化振興事業については、伊勢堂岱遺跡の内容確認の調査について国の目指す基準にほぼ達しており、総括として報告書がまとめられた。今後は、世界遺産登録に向けた景観条例等の取り組みが必須の課題となる。

「必要性」については、必要性が高い及び必要不可欠の事業が大半である。昨今は、社会問題が教育問題に直結するケースも多く、今後もニーズの多様化が予想されることから、これらにきめ細かく対応することが重要であり、更なる内容充実に努める必要がある。

「方向性」については、5項目で廃止・休止とした。山村留学センター事業は、旧合川町時代の平成4年から都市と農山村の交流事業を推進し、地域の活力と人間性豊かで心身ともに健康な児童生徒の育成に資するため大きな役割を果たしてきたが、利用者確保が困難で今後の見通しも立たず、継続が困難であり、平成22年度で事業を廃止とした。また、合川高等学校に関しては、昭和37年度の開校以来、多くの人材を輩出してきたが、県立3高等学校（鷹巣農林高等学校・鷹巣高等学校・米内沢高等学校）との統合により開校となった県立秋田北鷹高等学校に伝統が引き継がれることとなった。今後は、施設の利活用の検討が必要となる。また、小学校の再編計画等、今後も直面する課題が多く、教育委員会の担う役割は重大である。

平成23年 8月25日

北秋田市教育委員会

#### 4 主要施策点検・評価表【施策個別点検・評価】

有効性・・・ 1＝期待以下の成果 2＝期待どおりの成果 3＝期待以上の成果  
 費用対効果・・・ 1＝課題あり 2＝予定どおりの費用対効果 3＝予想以上の費用対効果  
 必要性・・・ 1＝必要性が低い 2＝必要性が高い 3＝必要不可欠  
 方向性・・・ 1＝廃止・休止 2＝縮小 3＝統合 4＝継続 5＝拡大

1 幼稚園就園奨励費補助金事業			主管課	総務課	
予算現額	2,246千円	有効性	費用対効果	必要性	方向性
		2	2	3	4
活動内容	幼稚園に通園させている保護者の方で一定の要件に該当する方に、授業料支払いによる経済的負担を軽減するため、所得状況に応じ授業料等の減免を行う。				
点検・評価	<p>少子化対策事業の1つとして、北秋田市内在住で市立幼稚園にあつては4歳児、5歳児、私立幼稚園にあつては満3歳児、3歳児、4歳児、5歳児を通園させている方で一定の要件に該当する方に対し、本年度は22人、2,241,766円の補助を行い、子育て家庭の経済的負担の軽減が図られた。</p> <p>一部、国庫補助金を充当しており、事業へのニーズも高いが、所得状況により補助額が変動するため、不況下には事業費が増加することも想定される。また、東日本大震災被災児童の対応など、検討が必要である。</p>				

2 すこやか子育て支援事業			主管課	総務課	
予算現額	1,807千円	有効性	費用対効果	必要性	方向性
		3	2	3	4
活動内容	社会全体で子育てを支えていくとの考えのもと、子どもの幼稚園への入園等に伴う子育て家庭の経済的負担を軽減することにより、生活基盤の弱い世帯が安心して子どもを産み育てることができる環境の整備を図る。				
点検・評価	<p>幼稚園就園奨励費補助金事業によって減免される分を除き、幼稚園に在園する幼児並びに保護者が北秋田市の住民で、保護者又は扶養者の所得が制限内である方に対し、一定の要件のなかで本年度は33人、1,712,625円の補助を行い、子育て家庭の経済的負担の軽減が図られた。</p> <p>一部、県補助金を充当しており、平成23年度からは市立幼稚園授業料の引き上げもあるため、制度を有効に活用しながら事業を継続していく。</p>				



3 地域子育て創生事業（乳幼児安全安心対策事業）			主管課	総務課	
予算現額	107千円	有効性	費用対効果	必要性	方向性
		2	2	2	2
活動内容	幼稚園において感染症等の予防対策物品を整備することにより、幼児が安心して教育・保育を受けることのできる体制整備を図る。				
点検・評価	幼稚園は集団で幼児を教育する場所であるため、1人が感染症に罹患すると瞬く間に集団感染を引き起こす可能性があり、特に低年齢児は自分の健康状態を正確に伝えることが困難なことから、県の補助事業10万円（10/10）を活用して加湿器2台、指先消毒器、赤外線体温計を購入し、感染症等の予防対策物品を整備することにより、生活環境及び健康管理体制の改善を図った。				

4 小学校校舎等内外改修補修事業			主管課	総務課	
予算現額	委託費（繰越金）48,786千円	有効性	費用対効果	必要性	方向性
	工事費（繰越金）78,697千円	3	3	3	5
活動内容	校舎等内外の改修工事等の施工により、安心して快適な学習環境の整備を図る。				
点検・評価	<p>繰越明許費では、阿仁合小学校、鷹巣中央小学校、鷹巣南小学校の耐震補強工事を実施し、小学校の耐震化率は66.7%（前年度52.3%）となった。</p> <p>米内沢小学校については、老朽化に伴う平成25年度の新校舎の竣工に向け、地質調査業務委託、改築工事実施設計委託を実施し、また学校図書館解体工事等を行った。</p> <p>校舎等内外の改修工事等は、安心して快適な学習環境の整備のために予算内で最大限の効果を発揮しているものの、施設の老朽化により改修箇所が増加してきており、十分な対応が出来ない状況である。</p> <p>なお、今後は米内沢小学校校舎改築工事、平成27年度の竣工を目指している合川小学校の建築に向けた事業の推進など、ますます重要性が増してくる。</p>				

有効性・・・1＝期待以下の成果 2＝期待どおりの成果 3＝期待以上の成果  
費用対効果・・・1＝課題あり 2＝予定どおりの費用対効果 3＝予想以上の費用対効果  
必要性・・・1＝必要性が低い 2＝必要性が高い 3＝必要不可欠  
方向性・・・1＝廃止・休止 2＝縮小 3＝統合 4＝継続 5＝拡大

5 小学校情報通信技術環境整備事業		主管課	総務課		
予算現額	2,794千円(繰越明許)	有効性	費用対効果	必要性	方向性
		3	2	3	4
活動内容	平成23年7月のテレビ放送完全デジタル化への対応を図るため北秋田市内の小学校に地上デジタルテレビを整備するとともに、デジタル教材を利用したわかりやすく楽しい授業の展開を図るため電子黒板を整備する。				
点検・評価	<p>国庫補助事業である学校情報通信技術環境整備事業費補助金及び地域活性化・経済危機対策臨時交付金を利用して、平成22年度へ繰越となった米内沢小、浦田小、前田小に合計14台の地上デジタルテレビを整備した。平成21年度事業完了分と合わせると、市内14小学校(鷹巣小を除く。)の普通教室に67台の地上デジタルテレビを、10小学校(鷹巣小、浦田小、大阿仁小、合川西小、合川南小を除く。)に10台の電子黒板機能付デジタルテレビを整備したこととなる。</p> <p>また、関連して綴子小、鷹巣中央小、鷹巣南小、鷹巣西小、合川東小、合川西小、合川北小の地上デジタル放送を受信するためアンテナ等の改修を行い、テレビ放送完全デジタル化への環境が全て整った。</p> <p>なお、鷹巣小学校に関しては、平成21年度に電子黒板を活用した教育に関する調査研究事業により14台の電子黒板機能付デジタルテレビが整備されている。</p> <p>今後は、平成24年度までに浦田小、大阿仁小、新設となる合川小に電子黒板機能を整備するため、検討を進める。</p>				

有効性・・・1＝期待以下の成果 2＝期待どおりの成果 3＝期待以上の成果  
費用対効果・・・1＝課題あり 2＝予定どおりの費用対効果 3＝予想以上の費用対効果  
必要性・・・1＝必要性が低い 2＝必要性が高い 3＝必要不可欠  
方向性・・・1＝廃止・休止 2＝縮小 3＝統合 4＝継続 5＝拡大

6 中学校校舎等内外改修補修事業			主管課	総務課	
予算現額	委託費(繰越) 33,736千円	有効性	費用対効果	必要性	方向性
	工事費(繰越) 515,295千円	2	3	3	4
活動内容	校舎等内外の改修工事等の施工により、安心して快適な学習環境の整備を図る。				
点検・評価	<p>繰越明許費では、森吉中学校の耐震補強工事、阿仁中学校体育館改築工事を実施し、中学校の耐震化率は100%（前年度72.4%）となり、安全性の確保が図られた。</p> <p>森吉中学校については、アスベストを含む煙突の解体工事を実施した。</p> <p>校舎等内外の改修工事等は、安心して快適な学習環境の整備のために予算内で最大限の効果を発揮しているものの、施設の老朽化により改修箇所が増加してきており、十分な対応が出来ない状況である。</p>				

7 中学校情報通信技術環境整備事業			主管課	総務課	
予算現額	5,704千円(繰越明許)	有効性	費用対効果	必要性	方向性
		3	2	3	2
活動内容	平成23年7月のテレビ放送完全デジタル化への対応を図るため北秋田市内の中学校に地上デジタルテレビを整備する。				
点検・評価	<p>国庫補助事業である学校情報通信技術環境整備事業費補助金及び地域活性化・経済危機対策臨時交付金を利用して、平成22年度へ繰越となった鷹巣中、鷹巣南中、森吉中に合計23台の地上デジタルテレビを整備した。平成21年度事業完了分と合わせると、市内5中学校の普通教室に32台の地上デジタルテレビを整備したこととなる。</p> <p>また、関連して鷹巣中、森吉中の地上デジタル放送を受信するためアンテナ等の改修を行い、テレビ放送完全デジタル化への環境が全て整った。</p>				

有効性・・・ 1＝期待以下の成果 2＝期待どおりの成果 3＝期待以上の成果  
費用対効果・・・ 1＝課題あり 2＝予定どおりの費用対効果 3＝予想以上の費用対効果  
必要性・・・ 1＝必要性が低い 2＝必要性が高い 3＝必要不可欠  
方向性・・・ 1＝廃止・休止 2＝縮小 3＝統合 4＝継続 5＝拡大

8 幼稚園情報通信技術環境整備事業			主管課	総務課	
予算現額	528千円（繰越明許）	有効性	費用対効果	必要性	方向性
		3	2	3	1
活動内容	平成23年7月のテレビ放送完全デジタル化への対応を図るため、たかのす幼稚園に地上デジタルテレビを整備する。				
点検・評価	<p>国庫補助事業である学校情報通信技術環境整備事業費補助金及び地域活性化・経済危機対策臨時交付金を利用して、平成22年度へ繰越となったたかのす幼稚園に2台の地上デジタルテレビを整備した。</p> <p>同時期にアンテナ改修工事を実施し、地上デジタル放送を受信するための環境が整った。</p>				

9 学童研修センター（リフレッシュ学園）運営事業			主管課	総務課	
予算現額	14,286千円（現年）	有効性	費用対効果	必要性	方向性
	3,343千円（繰越明許）	3	2	2	4
活動内容	人間関係の悩みやストレスを抱え、心の問題に悩む全国の子どもたちを対象に、自然体験や物作り体験など、さまざまな体験活動を通して心と体のリフレッシュを図る機会を提供する。				
点検・評価	<p>今年度は20人（県外5人）の中学生在が延べ982日在園し、利用日は221日で、1日あたり4.4人が利用した。在園した中学3年生10人中7人は希望高校に入学し、元気に高校生活を送っている。また、8人が学校復帰や学校と学園を行き来できるようになるなど、学園の存在意義は高い。</p> <p>北秋田市の「さわやか教室」や市内各学校との連携も図りながら、事業を展開していくことが必要である。また、一部県委託費を充当しており、県の動向を見極めながら事業を継続する必要がある。</p> <p>また、平成22年度に繰越となった学童研修センター屋根塗装工事を実施している。</p>				

有効性・・・1＝期待以下の成果 2＝期待どおりの成果 3＝期待以上の成果  
費用対効果・・・1＝課題あり 2＝予定どおりの費用対効果 3＝予想以上の費用対効果  
必要性・・・1＝必要性が低い 2＝必要性が高い 3＝必要不可欠  
方向性・・・1＝廃止・休止 2＝縮小 3＝統合 4＝継続 5＝拡大

10 山村留学センター運営事業			主管課	総務課	
予算現額	1,759千円(現年)	有効性	費用対効果	必要性	方向性
	2,441千円(繰越明許)	—	—	—	1
活動内容	地域の自然や風土を活用した児童の体験学習を通じて都市と農村の交流を図り、地域の活性化にもつながる事業展開を図る。				
点検・評価	<p>利用者の確保が困難であり、平成21年度に続き事業を休止した。今後も、利用者の見通しが立たず継続が困難な状況であり、平成22年度で施設の廃止条例が可決された。</p> <p>平成22年度に繰越となった山村留学センター屋根塗装工事を実施している。</p> <p>今後は、どのように施設を活用していくか検討を進めなければならない。</p>				

11 不登校児童生徒対策事業			主管課	学校教育課	
予算現額	1,581千円	有効性	費用対効果	必要性	方向性
		2	2	3	4
活動内容	北秋田さわやか教室に指導員1人を配置し、生活支援や個別に学習支援を必要とする児童生徒への支援を図る。				
点検・評価	<p>不登校児童生徒の状況に応じ、学校と連携しながら計画的に支援にあたっている。</p> <p>児童生徒の中には通級も困難な場合もあり、個別のケースに応じた支援が可能となる環境を整えるとともに、対応の在り方を工夫していかなければならない。</p>				

有効性・・・1＝期待以下の成果 2＝期待どおりの成果 3＝期待以上の成果  
費用対効果・・・1＝課題あり 2＝予定どおりの費用対効果 3＝予想以上の費用対効果  
必要性・・・1＝必要性が低い 2＝必要性が高い 3＝必要不可欠  
方向性・・・1＝廃止・休止 2＝縮小 3＝統合 4＝継続 5＝拡大

12 教育センター事業			主管課	学校教育課	
予算現額	8,724千円	有効性	費用対効果	必要性	方向性
		2	2	3	4
活動内容	北秋田市の教育に関する調査・研究、教育関係者の研修を行い、教育の振興を図る。また、北秋田市の学校教育の基本理念の具現化を目指す。				
点検・評価	<p>知徳体バランスのとれた児童生徒の育成に向け、活力ある学校づくりを支援する研修を推進した。</p> <p>9月開催の小学校学年別・中学校教科別授業研究会は、教職員の授業改善の大きなきっかけとなり、本市の学力向上の取組の一つとなっている。また、10月開催の理科・社会科研究発表会では、発表者数が昨年よりも46題、75人増加するなど、学習に対する児童の関心の高まりが感じられた。</p>				

13 学校生活サポート事業			主管課	学校教育課	
予算現額	29,951千円	有効性	費用対効果	必要性	方向性
		3	3	3	5
活動内容	特別な教育的支援を必要とする児童生徒が在籍している学校に対し、支援員を配置し、学校生活全般にわたって対象児童生徒及び学級担任の支援を行う。				
点検・評価	<p>平成22年度は障害児支援において20人（15校）、日本語支援において1人（1校）の支援員を配置し、生活支援や学習支援等を行った。</p> <p>対象児童生徒が充実した学校生活を送ることができるほか、周囲の児童生徒や学級担任にとっても大きな成果となっている。</p> <p>今後は、児童生徒の自立に向けた支援方法、進路指導の在り方についての研修の充実を図っていく必要がある。</p>				

有効性・・・1＝期待以下の成果 2＝期待どおりの成果 3＝期待以上の成果  
費用対効果・・・1＝課題あり 2＝予定どおりの費用対効果 3＝予想以上の費用対効果  
必要性・・・1＝必要性が低い 2＝必要性が高い 3＝必要不可欠  
方向性・・・1＝廃止・休止 2＝縮小 3＝統合 4＝継続 5＝拡大

14 ファン・イングリッシュ推進事業 (小学校における英語活動等国際理解推進事業)			主管課	学校教育課	
予算現額	376千円	有効性	費用対効果	必要性	方向性
		2	2	2	1
活動内容	実践研究校に対しての指導・助言・援助等、事業推進のため支援と体制整備を行うことで、小学校における外国語活動の円滑な実施を目指す。				
点検・評価	平成23年度からスタートする新学習指導要領により小学校における外国語活動が実施されるが、その先進的な事業を展開することができた。 合川北小を会場として行った自主公開研究会では、他校の参考となる授業の取り組みや研究内容が披露され、参加者にとって有意義なものとなった。				

15 小学校備品等購入事業			主管課	学校教育課	
予算現額	23,114千円	有効性	費用対効果	必要性	方向性
		3	2	3	5
活動内容	各小学校において、教材備品、図書備品等を充実させることで学習活動の充実を目指す。				
点検・評価	教育予算減の中で、各校で工夫しながら事業が展開されている。今後も事業を継続し活力ある学校づくりに結びつける必要がある。				

16 中学校備品等購入事業			主管課	学校教育課	
予算現額	11,457千円	有効性	費用対効果	必要性	方向性
		3	2	3	5
活動内容	各中学校において教材備品、図書備品等を充実させることで、学習活動の充実を目指す。				
点検・評価	教育予算減の中で、各校で工夫しながら事業が展開されている。今後も事業を継続し活力ある学校づくりに結びつける必要がある。				

有効性・・・1＝期待以下の成果 2＝期待どおりの成果 3＝期待以上の成果  
費用対効果・・・1＝課題あり 2＝予定どおりの費用対効果 3＝予想以上の費用対効果  
必要性・・・1＝必要性が低い 2＝必要性が高い 3＝必要不可欠  
方向性・・・1＝廃止・休止 2＝縮小 3＝統合 4＝継続 5＝拡大

17 要保護及び準要保護児童生徒援助事業			主管課	学校教育課	
予算現額	23,753千円	有効性	費用対効果	必要性	方向性
		2	2	3	5
活動内容	経済的に困難な保護者に対し、学用品や給食費等を援助することで児童生徒の就学を支援する。				
点検・評価	平成22年度は要保護認定者22人、準要保護認定者270人の児童生徒の保護者に対して区分に応じて援助を行った。 様々な理由により事業への申請者は年々増加しており、事業の継続が強く求められている。				

18 遠距離通学補助事業			主管課	学校教育課	
予算現額	4,667千円	有効性	費用対効果	必要性	方向性
		2	3	3	4
活動内容	小学校4km以上、中学校6km以上の遠距離通学者のうち、公共交通機関を利用する児童生徒に運賃相当額を補助することにより、円滑な就学を図る。				
点検・評価	学校生活時間に合う利用可能な時間帯で運行している路線バスを使って、55人（小3校、中3校）の児童生徒が安全に登下校することができた。				

19 スクールバス運行事業			主管課	学校教育課	
予算現額	47,757千円	有効性	費用対効果	必要性	方向性
		2	3	3	4
活動内容	遠距離通学者の登下校の交通手段として、スクールバス及びスクールタクシーを運行することで、児童生徒の円滑な就学と安全・安心の確保に資する。				
点検・評価	スクールバス11台により336人（小9校、中5校）の児童生徒が利用しており、登下校の安全確保と円滑な教育活動の展開に必要な事業である。				

有効性・・・1＝期待以下の成果 2＝期待どおりの成果 3＝期待以上の成果  
費用対効果・・・1＝課題あり 2＝予定どおりの費用対効果 3＝予想以上の費用対効果  
必要性・・・1＝必要性が低い 2＝必要性が高い 3＝必要不可欠  
方向性・・・1＝廃止・休止 2＝縮小 3＝統合 4＝継続 5＝拡大



20 児童生徒大会派遣費補助事業（小中学校）			主管課	学校教育課	
予算現額	11,000千円	有効性	費用対効果	必要性	方向性
		2	2	3	4
活動内容	全県大会以上の大会に出場する児童生徒、引率者の交通費、宿泊費及び参加料を補助することで、児童生徒の個性の伸長と健全育成を図る。				
点検・評価	目標をもって、上位大会を目指して市内の児童生徒、学校の教職員は取り組んでいる。				

21 ふるさと学習推進事業			主管課	学校教育課	
予算現額	1,000千円	有効性	費用対効果	必要性	方向性
		2	3	3	4
活動内容	総合的な学習の時間、生活科、学校行事等において各校では様々な体験活動が行われており、本補助事業も活用しながら特色ある教育活動が展開する。				
点検・評価	様々な体験活動をとおして社会性の向上、自己有用感の向上などが求められており、本事業の継続は必要である。				

22 外国青年招致事業（小中学校）			主管課	学校教育課	
予算現額	23,376千円	有効性	費用対効果	必要性	方向性
		2	3	3	4
活動内容	ALTを5人配置し、小学校における外国語活動及び中学校における英語教育と国際理解教育の充実に資する。				
点検・評価	平成23年度から小学校において外国語活動が本格的に導入することを受け、市内の全小学校では平成21年度から先行実施が行われている。各中学校区に1人のALT配置により大きな成果が見られ、この体制での事業の継続が望まれる。				

有効性・・・1＝期待以下の成果 2＝期待どおりの成果 3＝期待以上の成果  
費用対効果・・・1＝課題あり 2＝予定どおりの費用対効果 3＝予想以上の費用対効果  
必要性・・・1＝必要性が低い 2＝必要性が高い 3＝必要不可欠  
方向性・・・1＝廃止・休止 2＝縮小 3＝統合 4＝継続 5＝拡大

23 学校保健事業			主管課	学校教育課	
予算現額	18,085千円	有効性	費用対効果	必要性	方向性
		2	2	3	4
活動内容	健康診断の実施により児童生徒及び教職員の健康の保持増進を図り、学校教育の円滑な実施に結びつける。				
点検・評価	各校において健康診断後の事後指導も継続して行われており、学校保健安全法に基づく本事業の継続は必要である。				

24 フッ素洗口事業			主管課	学校教育課	
予算現額	405千円	有効性	費用対効果	必要性	方向性
		2	2	3	5
活動内容	市内全小・中学校において希望者を対象としてフッ素洗口を実施する。				
点検・評価	<p>学校保健統計調査によると、本県の子どもたちの虫歯の本数が全国平均を大きく上回るなど、歯の健康は決して好ましい状況にはない。</p> <p>フッ素洗口は、週に1回程度の実施でも長期にわたって継続することで虫歯予防に大きな成果が現れると言われており、本市においても希望者を対照に事業を展開している。まだ希望していない児童生徒も少数いるが、各学校において事業の趣旨や成果を周知することで、近い将来全ての児童生徒が実施し、虫歯予防に役立てるよう事業を展開したい。</p>				

25 高等学校備品等購入事業			主管課	学校教育課（総務課）	
予算現額	492千円	有効性	費用対効果	必要性	方向性
		2	2	3	1
活動内容	教材備品、図書備品等を充実させることで学習活動の充実を図る。				
点検・評価	<p>教材備品、図書備品等の充実を図ることにより、生徒の授業内容の充実に結びつき、学習内容全体に幅を持たせる効果があった。</p> <p>合川高等学校の閉校に伴い、平成23年度以降、本事業は廃止する。</p>				

有効性・・・1＝期待以下の成果 2＝期待どおりの成果 3＝期待以上の成果  
費用対効果・・・1＝課題あり 2＝予定どおりの費用対効果 3＝予想以上の費用対効果  
必要性・・・1＝必要性が低い 2＝必要性が高い 3＝必要不可欠  
方向性・・・1＝廃止・休止 2＝縮小 3＝統合 4＝継続 5＝拡大

26 教育相談員配置事業（高等学校）			主管課	学校教育課（総務課）	
予算現額	280千円	有効性	費用対効果	必要性	方向性
		2	2	3	1
活動内容	支援員を配置することにより、学校生活全般にわたって生徒及び学級担任の支援を行う。				
点検・評価	<p>教師との間のコミュニケーションでは得難い生徒の心理ケアの実施・実践が図られた。</p> <p>合川高等学校の閉校に伴い、平成23年度以降、本事業は廃止する。</p>				

27 青少年育成事業			主管課	生涯学習課	
予算現額	765千円	有効性	費用対効果	必要性	方向性
		2	2	3	4
活動内容	<p>非行防止、地域環境浄化活動、あったか声かけ運動、秋田ふれあいサンサンデーの実施、森林環境学習を取り入れた小学生による社会貢献活動、子どもによる伝承芸能発表会など、青少年育成北秋田市民会議の事業を展開するとともに、青少年育成他団体及び関係機関等による青少年育成北秋田市青少年問題協議会を開催する。</p>				
点検・評価	<p>青少年を地域全体で見守り育成するために、安心・安全な環境づくりや意識改革を押し進めるため、さらに、地域での共通課題として青少年育成事業を継続する必要がある。</p> <p>また、青少年問題協議会をとおり、市全体で青少年問題の把握をし、協議することが重要である。</p>				

有効性・・・1＝期待以下の成果 2＝期待どおりの成果 3＝期待以上の成果  
費用対効果・・・1＝課題あり 2＝予定どおりの費用対効果 3＝予想以上の費用対効果  
必要性・・・1＝必要性が低い 2＝必要性が高い 3＝必要不可欠  
方向性・・・1＝廃止・休止 2＝縮小 3＝統合 4＝継続 5＝拡大

28 少子化対策・子育て支援事業			主管課	生涯学習課	
予算現額	1,686千円	有効性	費用対効果	必要性	方向性
		2	2	3	4
活動内容	希望のあった小学校12校（前年比5校増）において、「家庭教育講座」を実施する。また、2年目となった北秋田市子ども会育成連合会事業を開催する。				
点検・評価	<p>親や祖父母を対象にした研修会、親子のふれあい、命の授業、食育の大切さ他、家庭にとって大切なテーマを各校で設定し、バラエティに富んだ講座を実施した。各校での課題に沿った内容設定となるため、学校側では効果が上がっている。</p> <p>来年度は公民館事業として幼稚園・保育園を対象に開催している「家庭教育学級」と統一した講座として開催する予定。また、北秋田市子ども会育成連合会事業において、市内子どもたちの交流や親子参加型の事業を推進していくことは、少子化・子育て支援に有意義である。</p>				

29 放課後子ども教室推進事業			主管課	生涯学習課	
予算現額	6,019千円	有効性	費用対効果	必要性	方向性
		3	3	3	4
活動内容	小学生を対象に放課後の安全・安心な子どもの活動場所を確保するとともに、体験活動を中心に大勢で遊んで学ぶことにより、子どもたちの豊かな人間形成を目指す。				
点検・評価	全ての児童を対象に市内14か所で放課後児童クラブと連携し、地域ボランティアによる自然体験や、子どもたちの交流、また、地域住民との交流事業を行った。身近で気軽に地域教育力を発揮できる場となっている。				

有効性・・・1＝期待以下の成果 2＝期待どおりの成果 3＝期待以上の成果  
費用対効果・・・1＝課題あり 2＝予定どおりの費用対効果 3＝予想以上の費用対効果  
必要性・・・1＝必要性が低い 2＝必要性が高い 3＝必要不可欠  
方向性・・・1＝廃止・休止 2＝縮小 3＝統合 4＝継続 5＝拡大

30 放課後児童クラブ事業			主管課	生涯学習課	
予算現額	59,004千円	有効性	費用対効果	必要性	方向性
		2	2	3	4
活動内容	保護者が労働等により昼間家庭にいない小学校児童に対し、放課後、土曜日、長期休暇等に、家庭に代わって安全な生活の場と遊びの場を確保し、児童の健全育成を図る。				
点検・評価	<p>鷹巣地区6クラブ、合川4クラブ、森吉2クラブ、阿仁2クラブ、計14か所に開設。登録児童数は、鷹巣地区200人、合川地区158人、森吉地区104人、阿仁地区32人、計494人（加入率：全児童の約32%）。</p> <p>年々加入率が増加しており、共働き世帯等にとって必要不可欠な事業となっている。</p>				

31 学校支援地域本部事業			主管課	生涯学習課	
予算現額	2,269千円	有効性	費用対効果	必要性	方向性
		3	3	3	5
活動内容	文部科学省から県への再委託事業として3年目の取り組みとなる大阿仁小学校と、国・県の補助事業として実施2年目の鷹巣南小学校の2校が取り組んだ。地域の教育力を学校教育へ活用し、地域ぐるみで子どもを育むことで、地域住民の生き甲斐づくりへつなげる支援ボランティアの拡大を図る。				
点検・評価	<p>大阿仁小学校は3か年事業の最終年、鷹巣南小学校は継続事業として成果をあげた。特に、コーディネーターの協力のもとで支援ボランティアが拡充され、環境整備、登下校時の安全確保、育林活動、学習支援（校内・校外）、学校行事への協力など、学校の特色に合わせた活動に広がりを見せるなど、地域と学校との連携が強化された。</p> <p>実践した2校では新たな方向性を見い出している。学校と地域を結ぶ事業として、学校支援本部実施校の拡大と市内全域での理解を求めていきたい。</p>				

有効性・・・1＝期待以下の成果 2＝期待どおりの成果 3＝期待以上の成果  
費用対効果・・・1＝課題あり 2＝予定どおりの費用対効果 3＝予想以上の費用対効果  
必要性・・・1＝必要性が低い 2＝必要性が高い 3＝必要不可欠  
方向性・・・1＝廃止・休止 2＝縮小 3＝統合 4＝継続 5＝拡大

32 成人式事業			主管課	生涯学習課	
予算現額	696千円	有効性	費用対効果	必要性	方向性
		2	2	3	4
活動内容	新成人の門出を祝福するとともに、大人になったことの自覚を促し、自らの強い意志と責任をもって生き抜くよう激励する。				
点検・評価	<p>記念発表・記念撮影・記念冊子の編集をするなど、成人としての自覚と責任が醸成された。特に、例年行われていた記念公演を新成人による記念発表に変更し、「20年後の私」と題して、20年後の自分自身へ向けての決意や北秋田市に期待することをスピーチした。また、各出身中学校ごとに校歌を斉唱して旧交を深めていた。</p> <p>今後は、成人が自ら成人式を成功させるための取り組みが必要と思われる。</p>				

33 高齢者学級事業			主管課	生涯学習課	
予算現額	765千円	有効性	費用対効果	必要性	方向性
		2	2	2	4
活動内容	生きがいがづくりにつながる学びの場を提供し、仲間との交流を通じた学習活動を支援する。				
点検・評価	<p>市内4地区にある高齢者大学では、生きがいをテーマとした各種講演や社会見学を行ったり全体講座を開催し、会員相互の交流を深めた。</p> <p>今後は、学習した成果を地域に還元することが望まれる。また、高鷹大学では趣味的なクラブ活動を長年継続しているので、内容等について改善が必要と思われる。</p>				

有効性・・・ 1＝期待以下の成果 2＝期待どおりの成果 3＝期待以上の成果  
費用対効果・・・ 1＝課題あり 2＝予定どおりの費用対効果 3＝予想以上の費用対効果  
必要性・・・ 1＝必要性が低い 2＝必要性が高い 3＝必要不可欠  
方向性・・・ 1＝廃止・休止 2＝縮小 3＝統合 4＝継続 5＝拡大

34 日本語教室事業			主管課	生涯学習課	
予算現額	525千円	有効性	費用対効果	必要性	方向性
		2	2	3	4
活動内容	外国から嫁いできている方々への日本語指導教室として、森吉教室と鷹巣教室を開催する。中央公民館主催の「生涯学習フェスタ」でも活動を紹介した。				
点検・評価	鷹巣教室ではレベルに合わせ3コースを設定、森吉教室では日本の文化も学ぶなど参加者のニーズに細かく対応し、日本語の実践能力を向上させる教室を開催した。特に、個人の課題に即したテキストや資料を作成し、細かな指導方法を取るなど講師と指導ボランティアによる指導力も大きく、地域で役立つ各種資格の取得などを旨とする受講生も増え、教室開催の必要性が大きい。				

35 公民館講座開設事業			主管課	生涯学習課	
予算現額	4,347千円	有効性	費用対効果	必要性	方向性
		2	2	2	4
活動内容	各公民館を拠点として各種講座を開催することにより、学習しながら知識及び技術を習得し、自主的に学ぶ意欲を向上させる。 各種サークルへ活動の場を提供し、作品展示や発表の支援を行う。				
点検・評価	各公民館ごとに特徴ある事業が展開され、概ね良好な活動を維持し、公民館まつり、文化交流のつどいへの参加も順調であった。特に、中央公民館では従来の「公民館まつり」と「閉講のつどい」に替わる、「第1回生涯学習フェスタ」を開催し、公民館を利用している自主サークル等の紹介や実演など入場者参加型の多彩な内容を盛り込み、好評を博した。 今後は、趣味実用型の講座とは別に、地域の課題を見つけ、解決するという時代のニーズを的確に把握し、幅広い年齢層の誰でも参加することのできる事業の展開が必要かと思われる。				

有効性・・・ 1＝期待以下の成果 2＝期待どおりの成果 3＝期待以上の成果  
費用対効果・・・ 1＝課題あり 2＝予定どおりの費用対効果 3＝予想以上の費用対効果  
必要性・・・ 1＝必要性が低い 2＝必要性が高い 3＝必要不可欠  
方向性・・・ 1＝廃止・休止 2＝縮小 3＝統合 4＝継続 5＝拡大

36 婦人学級開設事業			主管課	生涯学習課	
予算現額	105千円	有効性	費用対効果	必要性	方向性
		2	2	2	2
活動内容	鷹巣地区婦人学級の活動を支援する。				
点検・評価	<p>鷹巣地区の18婦人学級のうち、9学級で16学習会を開催。内容は、関心の高いエコリサイクル学習や料理教室のほか、内陸線を利用しながら地域を学ぶふるさと研修などを開催し、各婦人学級の自発的な活動を支援した。</p> <p>鷹巣地区だけの事業だが、高齢化や会員減などにより退会する学級も増え、難しい面もある。</p>				

37 家庭教育学級開設事業			主管課	生涯学習課	
予算現額	88千円	有効性	費用対効果	必要性	方向性
		2	2	3	5
活動内容	希望のあった保育園・幼稚園（7園）を対象に、各園でのねらいに沿った講演会、学習会、親子のふれあいの場等として10回の学習機会を提供する。				
点検・評価	幼児期の家庭教育のあり方、重要性を保護者とともに考え、育児に関する情報を提供するために必要な事業であり、学校で開催する家庭教育講座と統合し一貫した事業として開設する必要がある。				

有効性・・・1＝期待以下の成果 2＝期待どおりの成果 3＝期待以上の成果  
費用対効果・・・1＝課題あり 2＝予定どおりの費用対効果 3＝予想以上の費用対効果  
必要性・・・1＝必要性が低い 2＝必要性が高い 3＝必要不可欠  
方向性・・・1＝廃止・休止 2＝縮小 3＝統合 4＝継続 5＝拡大



38 花いっぱい運動推進事業			主管課	生涯学習課	
予算現額	540千円	有効性	費用対効果	必要性	方向性
		2	2	3	5
活動内容	花の美しさは人の心に潤いを与え、花いっぱいの輪は和やかな生活と明るい社会を築くうえで大きな役割を果たす観点から、花いっぱい運動推進協議会への助成を行い、市全体への拡大周知をねらう。				
点検・評価	<p>協議会では種から苗を作るので、天候に左右され生育が遅れるなど心配された。協議会の主催する「花だんコンクール」には子ども会や高齢者グループなど、昨年より1個人、4団体多い計21件の応募があり、全地域での取り組みが増えた。</p> <p>市の花「あじさい」をピックアップするなど、花を育てることにより心を豊かにする運動として、さらに市内全域での広がりを期待する。</p>				

39 公民館改修事業			主管課	生涯学習課	
予算現額	54,767千円	有効性	費用対効果	必要性	方向性
		2	2	3	4
活動内容	経年劣化による老朽化の激しい公民館の改修事業を実施する。				
点検・評価	<p>坊沢公民館は老朽化が激しく、地域活性化・きめ細かな臨時交付金を活用し、トイレや和室等の改修工事を実施。また、館内の内装や外壁改修、その他工事や備品購入については財産区からの支援により実施された。</p> <p>沢口公民館では、通用口の雨漏りが著しいため、部分的な改修工事を行った。</p> <p>栄公民館では、財産区からの支援を受け、付属施設として倉庫を増設し、玄関の改修工事を実施した。</p> <p>各公民館とも、施設、設備の老朽化が激しいため、今後も計画的に順次対応していく必要がある。</p>				

有効性・・・1＝期待以下の成果 2＝期待どおりの成果 3＝期待以上の成果  
費用対効果・・・1＝課題あり 2＝予定どおりの費用対効果 3＝予想以上の費用対効果  
必要性・・・1＝必要性が低い 2＝必要性が高い 3＝必要不可欠  
方向性・・・1＝廃止・休止 2＝縮小 3＝統合 4＝継続 5＝拡大

40 陶芸ハウス運営事業			主管課	生涯学習課	
予算現額	390千円	有効性	費用対効果	必要性	方向性
		2	2	2	4
活動内容	生涯学習の一環として陶芸を志す人に窯を提供し、作品作りに支援をする。				
点検・評価	陶芸ひまわりの会員を中心に、5～11月の期間に文化祭等に出品するため、壺などの作品づくりを行っている。利用を希望する方は年々増加している状況であるが、窯の老朽化や容量の関係から十分な対応ができない状況である。今後、利用方法や窯の更新など検討が必要である。				

41 あいターミナル運営事業			主管課	生涯学習課	
予算現額	3,184千円	有効性	費用対効果	必要性	方向性
		1	1	2	4
活動内容	IT時代に対応するためパソコン講座を開設し、自由にパソコンに触れる機会を提供する。				
点検・評価	パソコンが老朽化しており利用者には不便をきたしているため、早期に更新する必要がある。小学校等の長期休みを除き利用者が少ないため、今後の活用方法等について検討が必要がある。また、建物は駅舎も兼ねている。				

有効性・・・1＝期待以下の成果 2＝期待どおりの成果 3＝期待以上の成果  
費用対効果・・・1＝課題あり 2＝予定どおりの費用対効果 3＝予想以上の費用対効果  
必要性・・・1＝必要性が低い 2＝必要性が高い 3＝必要不可欠  
方向性・・・1＝廃止・休止 2＝縮小 3＝統合 4＝継続 5＝拡大

42 文化振興事業		主管課	生涯学習課		
予算現額	37,606千円	有効性	費用対効果	必要性	方向性
		3	3	3	4
活動内容	<p>国指定の文化財について、伊勢堂岱遺跡は遺跡内容確認のための発掘調査を実施し、大規模な発掘調査は今年度で終了して総括となる報告書を刊行する。また、胡桃館遺跡は今後の方向性を検討するため胡桃館遺跡調査検討委員会を設置する。</p> <p>文化財の利活用と啓蒙周知活動として、指定文化財の建造物の見学会を実施する。</p> <p>平成20年度からの3か年事業である文化財総合的把握モデル事業については、最終年度となる平成22年度には北秋田市歴史文化基本構想の策定を行う。</p>				
点検・評価	<p>伊勢堂岱遺跡について、内容確認の調査については国の目指す基準にほぼ達し、総括としての本報告書がまとまった。今後は伊勢堂岱遺跡の特性を生かした史跡整備に向けた調査への切り替え、整備計画の検討と推進が急務となる。合わせて世界遺産登録に向けた景観条例策定等の取り組みが必須の課題となる。胡桃館遺跡については、文化庁の注目度・評価も極めて高く、関連分野の専門家の意見を伺いながら今後の調査の方向性を確定し、長期的な計画を立案していく必要がある。</p> <p>文化財の見学会では、2回目となる「建造物巡りバスツアー」で約50人の参加があり、関心の高さが窺われた。参加者からは定期的な開催を望む声が多く聞かれ、継続した取り組みとする必要がある。</p> <p>文化財総合的把握モデル事業については、作成した北秋田市歴史文化基本構想に基づいた市民との協働による文化財保存活用の推進、保存活用計画の策定が今後の課題である。</p>				

有効性・・・1＝期待以下の成果 2＝期待どおりの成果 3＝期待以上の成果  
費用対効果・・・1＝課題あり 2＝予定どおりの費用対効果 3＝予想以上の費用対効果  
必要性・・・1＝必要性が低い 2＝必要性が高い 3＝必要不可欠  
方向性・・・1＝廃止・休止 2＝縮小 3＝統合 4＝継続 5＝拡大

43 図書館（室）事業			主管課	生涯学習課	
予算現額	13,106千円	有効性	費用対効果	必要性	方向性
		2	2	3	4
活動内容	<p>地域住民の利用に供することができるよう、多様化する情報を的確に捉え、資料の収集・整理・保存に努める。</p> <p>また、市内図書館・図書室の連携を図るとともに、県立図書館等との相互協力により利用者のニーズに応えながら読書活動を推進する。</p> <p>図書館ボランティアとも連携を取りながら読み聞かせの充実に努める。</p>				
点検・評価	<p>県立図書館、市内図書館・図書室等と相互協力を図りながら住民の学習を助け、必要な情報をできる限り提供することができた。限られた資料費の中でバランスよく資料を収集するなど、地域の情報センターとしての役割を果たすことが必要である。</p> <p>また、読書感想文・読書感想画コンクール等の事業も継続しながら読書活動を推進していく。</p> <p>鷹巣図書館のボランティア「たまたまばこ」が毎月1回のペースで子供たちに読み聞かせ会を実施し、低学年の読書の向上に努めた。</p>				

44 文化会館運営事業			主管課	生涯学習課	
予算現額	51,989千円	有効性	費用対効果	必要性	方向性
		2	2	3	4
活動内容	<p>年数経過に伴い施設の老朽化が著しいことから、修繕、工事を実施する。また、自主公演事業を開催し、市民が文化に触れる機会の充実に努める。</p>				
点検・評価	<p>館内の各種修繕及び舞台床改修工事等を実施した。これらにより舞台上の段差が解消されるなど、利用者の安全が確保された。しかし、未だ損傷や経年劣化による改修必要箇所が多数あり今後も継続対応していく必要がある。</p> <p>自主公演事業では、より親しめるイベントとして、フェスティバル形式を用いるなど新たな試みを実施し、若年層にも好評を得た。また、市内外の芸術活動の発表の場として活用され、芸術文化の振興が図られた。</p>				

有効性・・・ 1＝期待以下の成果 2＝期待どおりの成果 3＝期待以上の成果  
費用対効果・・・ 1＝課題あり 2＝予定どおりの費用対効果 3＝予想以上の費用対効果  
必要性・・・ 1＝必要性が低い 2＝必要性が高い 3＝必要不可欠  
方向性・・・ 1＝廃止・休止 2＝縮小 3＝統合 4＝継続 5＝拡大

45 交流センター運営事業			主管課	生涯学習課	
予算現額	13,710千円	有効性	費用対効果	必要性	方向性
		2	3	3	4
活動内容	自主的地域活動や団体等の研修及び会議等の場として広く利用されたほか、災害時の避難場所としても利用された。				
点検・評価	市内のみならず、市外からの利用者もあり、地域の活動の場だけでなく、多様なニーズに答えられたのは大きな成果であった。				

46 みちのく子ども風土記館運営事業			主管課	生涯学習課	
予算現額	460千円	有効性	費用対効果	必要性	方向性
		2	2	3	4
活動内容	渡辺喜恵子の顕彰館として、市民の芸術文化を高めるための場所として活用された。				
点検・評価	各団体の活動場として多く利用され、芸術文化の向上に寄与した。一方、利用する団体が固定化されているため、今後より多くの市民や団体に利用してもらうための取り組みが必要である。				

有効性・・・ 1＝期待以下の成果 2＝期待どおりの成果 3＝期待以上の成果  
 費用対効果・・・ 1＝課題あり 2＝予定どおりの費用対効果 3＝予想以上の費用対効果  
 必要性・・・ 1＝必要性が低い 2＝必要性が高い 3＝必要不可欠  
 方向性・・・ 1＝廃止・休止 2＝縮小 3＝統合 4＝継続 5＝拡大

47 浜辺の歌音楽館運営事業			主管課	生涯学習課	
予算現額	9,520千円	有効性	費用対効果	必要性	方向性
		2	2	3	4
活動内容	成田為三を顕彰するとともに、本物の音楽に触れる機会の創出を図ることを念頭に、浜辺の歌音楽祭、定期演奏会を実施する。また、成田為三を顕彰する音楽博物館としての充実化のため、資料の収集整理を図る。				
点検・評価	<p>浜辺の歌音楽祭では、声楽家の佐藤姉妹による記念演奏会を実施し、児童生徒、指導教諭、一般の合唱団員からも好評を得た。定期演奏会では、今回2回目となるオペラ歌手村上敏明氏の家族によるコンサートを実施し、成田為三ゆかりの曲等を披露していただき、入場者からも好評価であった。「成田為三に関連した本物の音楽に触れる機会の創出」という路線は継続踏襲していきたい。</p> <p>平常の入館者数は年々減少傾向にあり、音楽博物館として資料の充実に努めるとともに、入館者の増加とリピーター獲得に向けた計画的な取り組みが必要である。</p>				

48 体育施設整備事業			主管課	スポーツ振興課	
予算現額	62,225千円	有効性	費用対効果	必要性	方向性
		2	2	3	4
活動内容	体育施設及び付帯設備の老朽化、故障等による修繕及び工事を実施し、安全で快適なスポーツ環境の整備を図る。				
点検・評価	<p>大規模なものとしては、公認検定に伴う鷹巣陸上競技場改修工事や陸上競技場管理棟壁修繕、鷹巣体育館給水管布設工事、薬師山スキー場リフト更新工事を実施した。</p> <p>施設の安全性確保、利便性の維持、改善が図られ利用環境整備につながった。</p> <p>当面は、現存施設の維持管理に努めていかなければならないものと考えられることから、利用者のニーズと目的に合った整備が求められる。</p> <p>また、今後は施設の老朽化により緊急の事業発生が見込まれる。</p>				

有効性・・・ 1＝期待以下の成果 2＝期待どおりの成果 3＝期待以上の成果  
費用対効果・・・ 1＝課題あり 2＝予定どおりの費用対効果 3＝予想以上の費用対効果  
必要性・・・ 1＝必要性が低い 2＝必要性が高い 3＝必要不可欠  
方向性・・・ 1＝廃止・休止 2＝縮小 3＝統合 4＝継続 5＝拡大

49 各種団体運営・活動費等支援事業			主管課	スポーツ振興課	
予算現額	7,800 千円	有効性	費用対効果	必要性	方向性
		2	2	3	4
活動内容	スポーツ団体等の活動や大会運営が円滑に行われるよう補助金、負担金を交付し、各種団体の育成及び事業運営の支援を図る。				
点検・評価	<p>北秋田市体育協会、スポーツ少年団などの団体や100キロチャレンジマラソン大会などの活動、大会支援に11件の補助金を交付した。また、体育指導委員会、スポーツ少年団等の上部組織などへ4件の負担金を納付するなど、各種団体、大会等の活動支援のために重要と考えられる。</p> <p>補助金については、これまでどおり補助金の支出が適正な事業であるかを精査していかなければならない。</p>				

有効性・・・ 1＝期待以下の成果 2＝期待どおりの成果 3＝期待以上の成果

費用対効果・・・ 1＝課題あり 2＝予定どおりの費用対効果 3＝予想以上の費用対効果

必要性・・・ 1＝必要性が低い 2＝必要性が高い 3＝必要不可欠

方向性・・・ 1＝廃止・休止 2＝縮小 3＝統合 4＝継続 5＝拡大